

NECブース内オープンセミナー（概要、スケジュール）

No.	セミナー名称	概要
A	光海底ケーブルシステムの紹介	光海底ケーブルシステムは、海洋を介した2地点、または多地点を結ぶ通信路で、陸揚げ局間を、海底中継器を接続した海底ケーブルで結んでいます。光海底ケーブルシステムの構成は、2地点を結ぶシステムを基本に、海洋の途中で分岐し多地点を結ぶ構成や、いくつかの陸揚げ局をリング状に結び、ケーブル障害時に各陸揚げ局間の通信に影響を及ぼさないように迂回出来る構成など、障害に強いネットワークが建設されています。本セミナーでは、国際通信を支える伝送技術について紹介します。
	海洋システム事業部	
B	クラウド時代の光ネットワークに求められる要件とNECの取り組み	スマートフォンの普及とサービスの高度化などでデータトラフィックが急増する中、ネットワークインフラを支える製品には更なる大容量、かつ柔軟で信頼性の高いシステムの実現が求められています。本セミナーでは、NECの光ネットワーク事業に対する取り組みと、実現する装置コンセプトについてご紹介します。
	コンバージドネットワーク事業部	
C	Siフォトニクスで実現するROADM用光スイッチ	光伝送路であるROADMの市場動向をベースに要求される光スイッチ機能などをSiフォトニクスで実現し、どのような製品をリリースしていくかを紹介します。
	光デバイス事業部	
D	光海底ケーブルシステムにおける100G技術動向ならびに当社の取り組み	光海底ケーブルシステムは、全世界のプロードバンドネットワークを支えるバックボーンとして重要な役割を果たしています。本セミナーでは、光海底ケーブルシステムにおける100G及びポスト100Gの技術動向について概説すると共に、当社の最新の取り組みについて紹介します。
	海洋システム事業部	
E	デジタルコヒーレントトランシーバ	デジタルコヒーレント方式のトランシーバ製品化において、適用するアプリケーションやプラットフォームのトレンドを想定しながらNECの今後の製品化を紹介します。
	光デバイス事業部	
F	光海底機器技術	現在、国際通信はその品質の良さから99%以上光海底ケーブルシステムが適用されています。この光海底ケーブルシステムを実現する海底機器は、最大8,000mの海底に設置されることからメンテナンスフリーを要求されます。この為、高耐圧に加え、高信頼度が要求されます。本セミナーでは、光海底ケーブルシステムのキーとなる装置である海底機器に適用される技術及び性能について紹介します。
	海洋システム事業部	
G	NECのSiフォトニクス取り組み	光通信業界の将来を想定し、キーデバイスの実現手段としてNECはSiフォトニクスを選択しました。本セミナーでは、NECのSiフォトニクスの特徴や性能を活かした製品化の取り組みを紹介します。
	光デバイス事業部	

No.	時間	4/10（水）	4/11（木）	4/12（金）
1	10:30-11:00	A	G	B
2	11:30-12:00	B	F	G
3	13:00-13:30	C	B	A
4	14:00-14:30	D	E	B
5	15:00-15:30	E	B	F
6	16:00-16:30	B	D	C

※展示、セミナー内容は、予告なく変更する場合がございますので予めご了承下さい。